

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇保健厚生・安全管理・防災	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 「地震や台風等の場合の対応について、生徒や保護者に対策マニュアルが知らされている。」の項目34において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が、保護者93.5%、生徒80.8%となっている。保護者については概ね周知できていると思われるが、生徒については11.9%が「あまりあてはまらない」と回答しており、「わからない」と合わせると約2割にのぼる。今後は、生徒が地震や台風等の非常変災時に迅速かつ的確な対応ができるよう、対策マニュアルの周知徹底を図る必要がある。 ストレスチェックの結果から、重度のストレスを感じている職員はほとんどいないようである。産業医の巡回指導等、快適な職場環境の保全に努めている結果として、職員のストレス発散や解消につながっているのではないと思われる。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自ら進んで健康で安全な生活を送る態度を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健厚生部 (2) 組織体制(学校・保護者・学校医・恵那市・消防署との連携) (3) 生徒会委員会(保健・美化) 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健だよりの充実及び保健指導 保健委員会活動による自発的な啓発活動(生徒) 健康管理注意生徒の管理状況の情報共有(職員) 救命救急講習(職員・生徒) 食物アレルギー研修(職員) (2) 安全点検の充実 学校医(産業医)、消防署との連携 緊急時対応マニュアルの整備と災害・事故発生等の緊急時対応の流れの確認 非常変災時における対応マニュアルの整備と安全確認の予行 命を守る訓練の充実(年間3回) ハザードマップ作成講座(1年生徒) 救助袋使用に関する研修(職員) 防災リーダーの選出及び活動(生徒) 自治体主催の講座への参加及び防災士の資格取得(生徒) (3) 全員掃除と長期休業中の掃除の継続 掃除状況の点検と評価及び啓発 美化委員会活動による自発的な啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健だよりの発行及び健康相談 (2) 保健委員会活動での成果と課題(生徒) (3) 健康管理注意生徒の管理状況の情報伝達(職員) (4) 救命救急講習の実施(職員・生徒) (5) 食物アレルギー研修の実施(職員) (6) 安全点検の実施及び危険箇所の早期対策 (7) 学校医(産業医)・消防署などの外部指導及び意見 (8) 防災計画の見直しと非常変災時の安全確認の予行の実施 (9) 命を守る訓練の計画・実施(年間3回) (10) ハザードマップ作成(1年生徒) (11) 救助袋使用に関する研修の実施(職員) (12) 防災リーダーによる生徒主体の活動、自治体主催の講座への参加及び防災士の資格取得(生徒) (13) 全員掃除と長期休業中の掃除の実施 (14) 掃除点検の実施と評価を基にした啓発活動 (15) 美化委員会活動での成果と課題(生徒) 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健だよりの定期的な発行 (2) 保健委員会活動(文化祭展示参加・体育祭救護活動・水質検査や石鹼補充等の環境衛生活動・熱中症予防対策等の健康啓発活動の継続、教室換気期間を設置し評価及び啓発) (3) 健康管理注意生徒の管理状況の伝達、情報共有(職員) (4) 救命救急講習(職員・生徒)の実施 (5) 食物アレルギー研修の実施(職員) 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒・職員の健康状態 (2) 生徒会委員会等(保健・美化委員会、防災リーダー)活動の成果 (3) 学校医(産業医)の指導 (4) 緊急時の対応(災害・事故発生及び非常変災時) 	<ul style="list-style-type: none"> A (B) C D (A) B C D (A) B C D A (B) C D

<p>(6) 安全点検の実施と危険箇所の修繕等の対策 (7) 年1回の非常変災時における安全確認の予行の実施、大雨警報発令時での実践 (8) 年3回の命を守る訓練の実施 (9) ハザードマップの作成(1年生徒) (10) 救助袋使用に関する研修の実施(職員) (11) 防災リーダーの選出及び活動(生徒) (12) 自治体主催の講座への参加及び防災士の資格取得(生徒) (13) 全員掃除と長期休業中の掃除の実施 (14) 美化委員会活動(掃除道具の点検補充・掃除場所を点検し評価及び啓発)</p>		
<p>11 成果 ・ 課題</p>	<p>○保健委員会の活動が計画的・継続的に行われている。各イベント時の活動をはじめ環境衛生活動や健康啓発活動に意欲的に取り組むことができた。 ○生徒1名・地域住民1名を病院に救急搬送することがあったが、応急処置や連絡等、職員間及び職員生徒間の連携がスムーズで、迅速かつ的確に対応することができた。 ○職員を対象に食物アレルギー研修や救命救急研修を実施したことで、アレルギーや救急を要する緊急時の対応における職員のスキルアップを図ることができた。 ○校内安全点検や命を守る訓練を充実させることで、快適で安全な学習環境の確保と防災意識の高揚を図ることができた。 ○非常変災時における安全確認の予行を実施したことで、安全確認の流れを周知することができた。大雨警報発令時等の非常変災時安全確認の実践を通して、生徒・保護者におおむね浸透した。 ○今年で2年目となるハザードマップ作成講座を、1年生を対象に実施した。ハザードマップを作成することで、自宅や学校周辺・通学路の災害時の危険区域を把握することができ、生徒の危機意識と防災力の向上につながった。 ○今年度新たな取り組みとして、職員を対象に救助袋使用に関する研修を実施した。救助袋の設置や使用方法等について学び、有事の際に迅速かつ的確に対応できるスキルを身に付けることができた。 ○学校や地域の防災力向上に貢献する役割を担う高校生防災リーダーを育成するため、校内で防災リーダーを選出し、命を守る訓練時に防災リーダーによる防災講習会を行うなど、生徒主体での活動を通して防災意識の向上に努めた。今後も生徒の主体性を養いながら、防災や減災、危機管理能力のさらなる向上を図りたい。また、校内だけでなく地域の防災活動にも積極的に参加し、地域の防災リーダーになり得る人材を育てていきたい。 ▲美化委員会の活動として昨年度に引き続き掃除場所の点検・評価を行った。掃除状況が不十分な掃除場所には掃除の徹底について啓発し、快適な学習環境の確保に努めた。生徒・職員の環境美化意識は高まりつつあるが、掃除の仕方等十分とは言えないところもある。来年度以降も継続して取り組み、生徒・職員の美化意識をさらに高めたい。</p>	<p>総合評価 A (B) C D</p>
<p>12</p>	<p>来年度に向けての改善方策案 ・自己健康管理能力の養成(健康教育及び保健委員会活動の充実) ・災害や事故発生等、緊急時における対応の流れの全職員の共通理解と協力(緊急時対応マニュアルの確認と救急体制の周知の徹底) ・非常変災時における安全確認の流れを周知徹底(非常変災時における対応マニュアルの整備及び職員・生徒・保護者への周知徹底) ・学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成(生徒主体による防災活動等の立案と実践、地域の防災活動への積極的参加) ・快適な学習環境の整備(校舎の新設・修繕や体育館の改修により整った施設を清潔に保つため、生徒・職員の美化意識のさらなる高揚を図る。)</p>	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月28日

【意見・要望・評価等】

- ・生徒の体力的な力に不安を感じる。
- ・とてもきれいな校舎で、整備も行き届いている。このような環境の中で学習できる生徒は幸せ。

